

人と人との絆を大切にし、地域に誇れる学校



二気二力

《 校 訓 》 気概 気品 協力 体力

《学校教育目標》

しなやかにたくましく、

夢に向かって前進し続ける生徒の育成

瀬戸内市立牛窓中学校

令和5年度学校通信

第1号

令和5年4月12日発行

TEL 0869-34-2048

FAX 0869-34-4698

メールアドレス

ushichuu@city.setouchi.lg.jp

令和5年度入学式

4月11日(火)に新入生の保護者の皆様のご臨席を賜り、入学式が挙行できましたことを大変うれしく思っております。市の方針に従い、今年度も来賓をお招きすることはできませんでしたが、座席間の距離を確保することによって、マスクの着脱については個人の判断に委ねることができました。今後の教育活動につきましても、今春見直された文科省の衛生管理マニュアルに従って実施して参ります。



当日は柔らかな春の日差しの下、在校生による温かい歓迎の言葉と歌、さらには新入生の凛々しい誓いの言葉によって、希望に満ちた式となりました。緊張した面持ちではありますが、まばゆいばかりに輝いている新入生の晴れ姿を目の当たりにして、預かる教職員も身の引き締まる思いがしました。

さて、本年度も引き続き、学校教育目標に「しなやかにたくましく、夢に向かって前進し続ける生徒の育成」を掲げ、校訓「二気二力」が示す四つの力「気概(自分を高める力)」「気品(自分と向き合う力)」「協力(他者とつながる力)」「体力(強靱な心と体)」を育み、保護者や地域の皆様から愛される学校づくりに努めて参る所存です。

式辞の中でも申し上げましたが、この校訓の下、中学校での様々な行事や体験活動を通して、自分で考え、自分で決め、責任を持って行動できる人に育つことを願っています。また、3つの小学校の卒業生が集う中学校では、互いの個性を尊重しながら、関わり方を学んでいくこととなります。かけがえのない自分自身を大切にしながら、自分と異なる考えを受け入れ、多様な他者と積極的に関わって欲しいと思っています。そして、目標に向かって力を合わせる楽しさや難しさを体験し、人として大きく成長していくことを願っています。

微力な私たち教職員ではございますが、一丸となって一人一人の生徒を大切に育て参りたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

令和5年度牛窓中学校教育方針

目指す学校像

- 信頼される学校
- 通いたい、通わせたい、勤務したい学校
- 生徒、保護者、地域が誇りとする学校

目指す生徒像

- 目的意識を持ち、自分の力を最大限に発揮しようと努力する生徒
- 自他を大切にし、互いに尊重し高め合おうとする生徒

目指す教員像

- 信頼される教職員
- 生徒や学校や地域を愛し、創造性と柔軟性のある教職員

具体的な重点目標

- 自律的な学習者の育成
- 多様性を認め合える集団づくり

校内研究テーマ

- 自律的な学習者の育成
- ～特別支援教育の視点とICTの活用をとおして～

3 学年を貫く牛窓学習

牛窓学習とは本校独自のものです、総合的な学習の時間に行う3 学年を貫く探究型のプロジェクトのことです。1 年生はフィールドワーク等を通して、地元の歴史、文化、魅力を発見していきます。2 年生は職場体験学習を通して、働くことの意義を学ぶとともに、地元産業についての理解を深めます。3 年生は、観光や福祉や産業など、地元の未来について考え、3 年間の集大成として市長さんをはじめとした市の担当者の方々に、地域創生案を提言します。知識・技能の習得に留まらず、実社会で生きて働く力、将来リーダーとして社会に貢献する力の育成を、強く意識しています。3 年間の教科等横断的な牛窓学習を通して、知識・技能の習得は言うに及ばず、校訓「二気二力」を身に付けることを狙っています。

そのためには、対面に加えて、コロナで制限された3 年間に急速に普及した ICT（情報通信技術）を用いた、実社会で行われている方法で、多様な他者とやりとりしていきたいと考えています。昨年度は、芸術家との交流を通じて牛窓の魅力を再発見したり、市長さんをはじめとした市担当者や地域創生についてオンラインでやりとりしたりしました。その模様は、2 月と3 月にメディア（NHK、西日本放送、山陽新聞）に取り上げられました。どんなゲストと交流するのか、外部の誰に対して発信するのか、メディアへの露出があるのかという点は、生徒のモチベーションにかなり影響してくるので、本年度も慎重に検討しながら進めて参りたいと考えています。なお、メディアへの露出がご不安な方は、学校にご相談ください。

転退任者及び着任者

令和4 年度末の人事異動で6 名の先生方が転退任され、5 名の先生方が着任されました。転退任された先生方の新天地でのご多幸とご活躍をお祈り申し上げるとともに、着任された先生方と力を合わせてよりよい学校づくりに努めて参る所存ですので、どうぞよろしくお願いたします。

《転退任された先生 転任先》

- ** ** 先生 ****
- ** ** 先生 ****
- ** ** 先生 ****
- ** ** 先生 ****
- ** ** 先生 ****
- ** ** 先生 ****

《着任された先生 前任校等》

- ◇** ** 先生 ****
- ◇** ** 先生 ****
- ◇** ** 先生 ****
- ◇** ** 先生 ****
- ◇** ** 先生 ****

なお、自立支援室「つぼみ」では、自分のペースで将来のことを考えたり、ソーシャルスキルを学んだり、自習や創作活動を行ったりしながら、自己肯定感の回復を図っていきます。

4 月の論語

これ^しを知るをこれ^しを知ると為し、知らざるを知らずと為せ。是^{これ}、知るなり。

どこまで分かっているのか、どこが分かっていないのかがはっきり区別できれば、まず知ることの最初の手掛かりができたことになるでしょう。その後は、分からないところを分かるために一生懸命に学ぶことです。（クマ先生とよむ論語）